

Q7 ふるさとづくり寄付やふれあいシャトルバスの状況はどのようになっていますか？

○ふるさとづくり寄付の状況

ニセコ町のまちづくりに共感した町内外のみなさんが、関心を寄せる政策に寄付という形で協力できる制度です。1口5千円で寄付を受け付けています。平成21年度末の状況は次のとおりです。

事業名	口数	金額(円)
森林資源の維持、保全及び整備事業	175	875,000
自然エネルギー及び省エネルギー設備整備事業	127	635,000
有島武郎に関する資料の収集及び有島記念館特別展の開催事業	55	275,000
環境保全及び景観維持、再生事業	334	1,670,000
コミュニティの推進に関する事業	45	225,000
事業の指定なし	84	420,000
合計	820	4,100,000

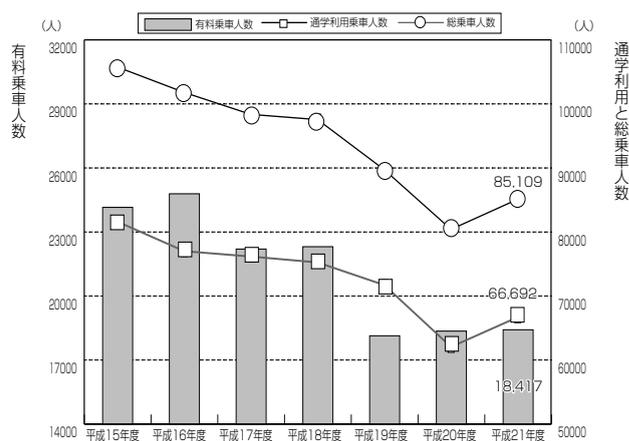
○ふれあいシャトルバスの乗車状況

平成21年度には8万5,109人がふれあいシャトルバスを利用しました。平成20年度から比べると4,704人の利用者が増加しました。

町では、ふれあいシャトルバスを大切な公共交通機関と位置づけ、平成20年度からは、利用者の増加と観光面での活用を図るため、アンヌプリ線と曾我東山有島線でバスに自転車を載せられるようになった（冬季及び通学を除く）ほか、JRと接続するなど、さまざまな取り組みを行っています。

また、平成22年度からは、より効率的で環境負荷の軽い運行を目指し、小型バス（29人乗り）を3台導入しました。

新しい時刻表や路線図は、143ページの「くらしの情報編」に掲載していますので、そちらをご覧ください。



バスの後部に自転車が2台まで載せられます（1台100円）

Q8 人件費の概要はどのようになっていますか？

○一般会計における人件費の状況（平成20年度）

人件費には、職員の他に町議会議員、非常勤特別職、臨時職員などにかかる報酬、給料、手当、共済費、負担金などが含まれます。

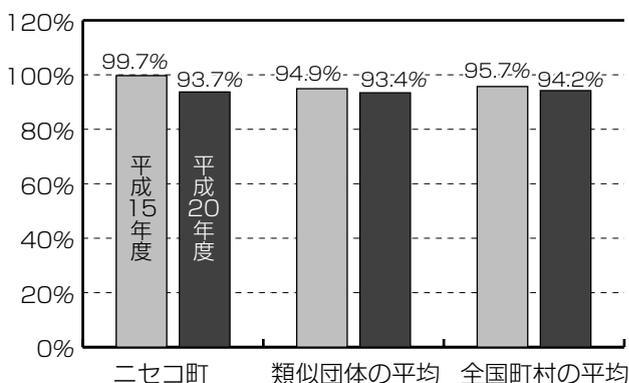
一般会計歳出額	実質収支	人件費	歳出額に占める人件費の率	(参考) 平成19年度の人件費率
37億1,692万円	7,455万円	6億6,053万円	17.8%	20.5%

・ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100としたときの自治体職員の給与水準を示すものです。ニセコ町の場合、平成20年度は93.7%ですので、国家公務員より6.3%水準が低いことになります。

※類似団体の平均

類似団体とは、人口規模や産業構造が類似している団体（市町村）のことです。類似団体の平均とは、類似団体のラスパイレス指数を単純に平均したものです



○人件費削減の取り組み

町では、次のような人件費の削減を行っています。

区分	項目	削減内容	削減措置の実施期間
一般職	給料	給料月額を一律2%削減	平成22年度
	管理職手当	手当額を一律2%削減 〔2%削減後の給料により手当額を計算するため、手当額が一律2%削減となる〕	

○特別職の報酬

町長や議会議員などの報酬は、町民のみなさんで構成する「特別職報酬審議委員会」で検討します。審議会では、町長からの依頼を受けて具体的に報酬額や改正の期日を検討し、委員会での決定事項を町長に伝えます。町長は委員会の決定事項を尊重して改正条例を町議会に提出し、議決を受けます。

区 分	二セコ町	二セコ町	後志管内町村平均	全道町村平均
町 長	670,000円	550,000円	650,500円	696,562円
副 町 長	570,000円	540,000円	565,789円	591,931円
教 育 長	520,000円	518,000円	524,921円	542,289円
議 長	235,000円	235,000円	247,578円	258,776円
副 議 長	187,000円	187,000円	196,421円	207,275円
委 員 長	167,000円	167,000円	176,947円	188,511円
議 員	155,000円	155,000円	165,473円	175,135円
	平成22年4月1日現在	平成21年4月1日現在		

出典：「市町村における職員数及び給料等の概要」

○一般職の給与

一般職の職員給与は、人事院の勧告に基づいて行われています。職員給与の詳細については、「広報二セコ8月号」でお知らせします。

区 分	二セコ町	二セコ町	後志管内町村平均	全道町村平均
職員一人当たりの平均給料月額	316,989円	320,758円	326,771円	330,379円
職員一人当たりの1年間の人件費の総額	556万円	567万円	582万円	606万円
経常的に入る収入額に占める人件費の割合	27.4%	27.8%	28.7%	28.1%
職員の平均年齢	41.1歳	42.3歳	43.6歳	43.9歳
	平成21年4月1日現在	平成20年4月1日現在		

出典：「市町村における職員及び給与等の概要」

○職員の数

- ・平成22年4月1日現在の職員数 82人（特別職を除く）

Q9 各種施設の維持管理経費はどの程度かかっているのですか？

町の主な施設の維持管理に必要な経費を平成22年度予算額で見ると、次のようになります。
町では、サービスの質を確保しながら経費の削減に努めます。

(万円)

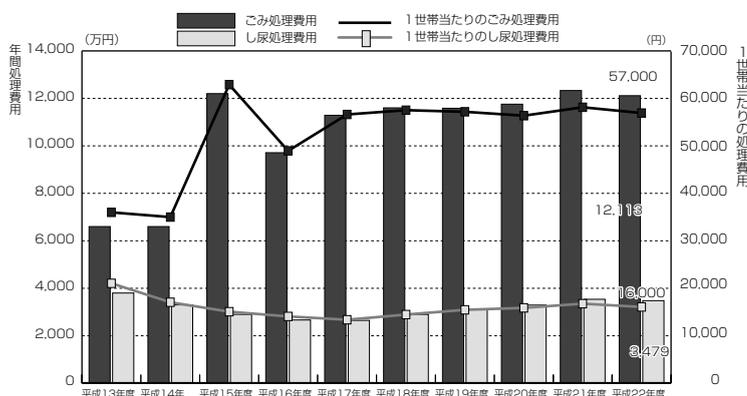
施設名	施設管理費	内訳				使用料等収入
		管理委託費	光熱燃料費	修繕費	その他	
役場庁舎	11,363	378	351	10,157	477	
除排雪対策費（道路）	9,859	9,460	367	32		
羊蹄衛生センター（し尿処理）	3,573				3,573	
下水道管理センター（下水道処理）	3,362	1,288	450	1,147	477	3,370
職員住宅	2,886	1	13	2,865	7	264
町営住宅	1,892	108	137	1,422	225	10,683
道の駅ニセコビュープラザ	1,845	799	354	10	682	385
道路	1,793	1,299	8	308	178	
水道施設	1,704	553	292	162	697	8,033
学校給食センター	1,691	345	750	19	577	
総合体育館	1,242	223	830	23	166	26
小学校（ニセコ、近藤）	1,213	529	556	35	93	
幼児センター	930	176	471	10	273	3,438
ニセコ高校	809	100	581	57	71	65
中学校	783	385	293	17	88	
有島記念館、有島記念公園	781	281	285	43	172	404
町民センター	731	486	190	29	26	40
公園（8施設）	724	593	47	8	76	9
一般廃棄物最終処分場（ごみ処理）	707	434	88	2	183	
町営牧場	491	98	1	2	390	178
教職員住宅	396			381	15	
ニセコ駅・五色野営場・アンヌプリ地区トイレ	392	181	129	8	74	68
運動公園	388	214	22	23	129	87
火葬場	375	300	33	10	32	35
地域コミュニティセンター（6施設）	299	89		68	142	
町民学習交流センター（あそぶっく）	297	35	156	9	97	
公民館	277	157	79	5	36	3
希望ヶ丘寮（ニセコ高校寄宿舎）	260	9	226	10	15	262
消防庁舎	248	15	206	24	3	
プール、テニスコート、町民グラウンド、陸上グラウンド	220	5	68	2	145	21
ヘリポート	126	32	24	1	69	14
墓地	73	35	7	1	30	5
西富地区町民センター	52	16	8	2	26	
学童保育所	45		12	13	20	210
河川維持費	15				15	34
家畜共進会場	8		2	6		2
旧幼稚園	6				6	
経費合計	51,856	18,624	7,036	16,911	9,285	27,636

- 上記の金額には人件費は含まれていません。
- 上記の金額には施設建設にかかる借金返済金は含まれていません。
- 修繕料には施設の維持管理にかかる工事請負費を含みます。

Q10 ごみの処理経費などはどうなっていますか？

○ごみ処理にかかる経費

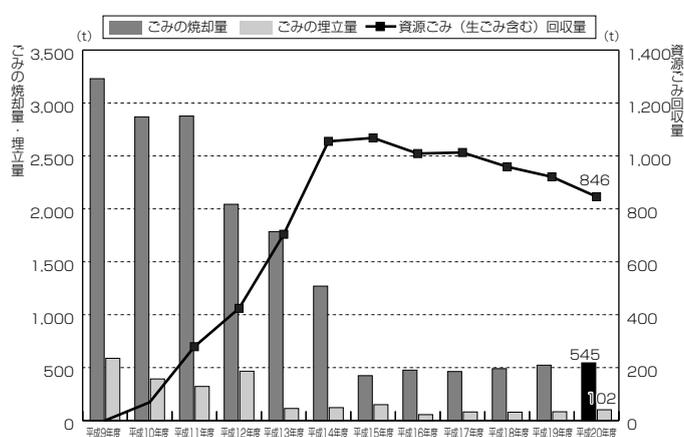
今年度のごみ処理経費は1億2,113万円で、し尿処理経費が3,479万円となっています。1世帯当たりで見ると、ごみ処理費は5万7千円で、し尿処理費が1万6千円となっています。



○ごみ処理量の推移

平成20年度のごみの量は、前年に比べると焼却、埋立てともに少し増えています。また、生ごみを含む資源ごみ回収量は前年より少し減っています。

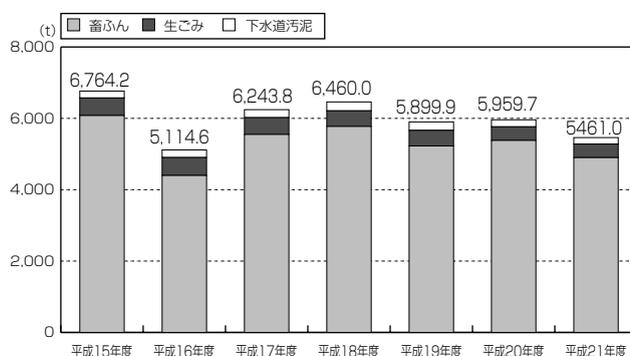
みなさんの協力によりごみの減量化に取り組んでいますが、今後ごみの増加（リバウンド現象）が起こらないよう、さらにみなさんと協力しながらごみの減量化を進めます。



○たい肥化した家畜ふん、生ごみ、下水道汚泥の量

堆肥センターでは町内の畜産農家から出される家畜のふんと、みなさんが出す生ごみ、そして下水道管理センターから出される下水道汚泥(汚水の浄化に活躍した微生物など汚水処理後に残る有機物)を原材料に、たい肥を生産しています。右のグラフは、平成21年度に堆肥センターに運び込まれた各原料の量を表しています。

同センターで生産されたたい肥は農家のみなさんだけでなく、町民のみなさんはどなたでも購入できます。(問合せ：JAようていニセコ支所)

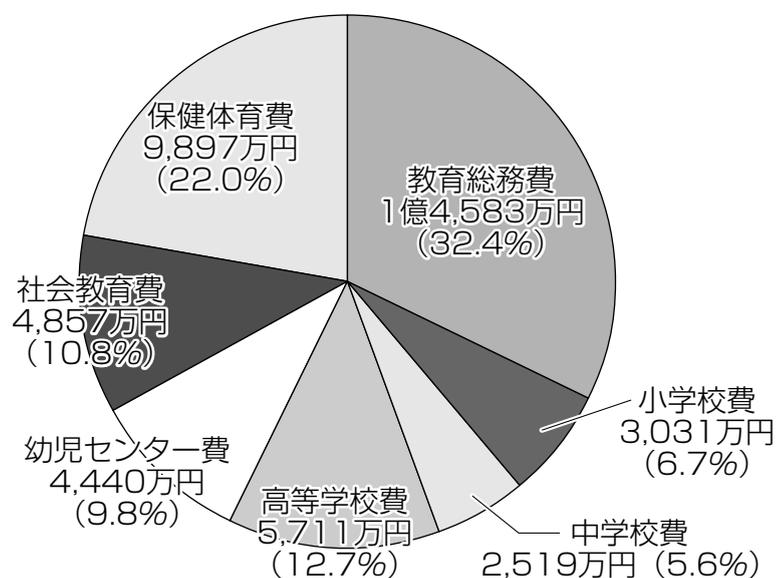


【たい肥の生産量】

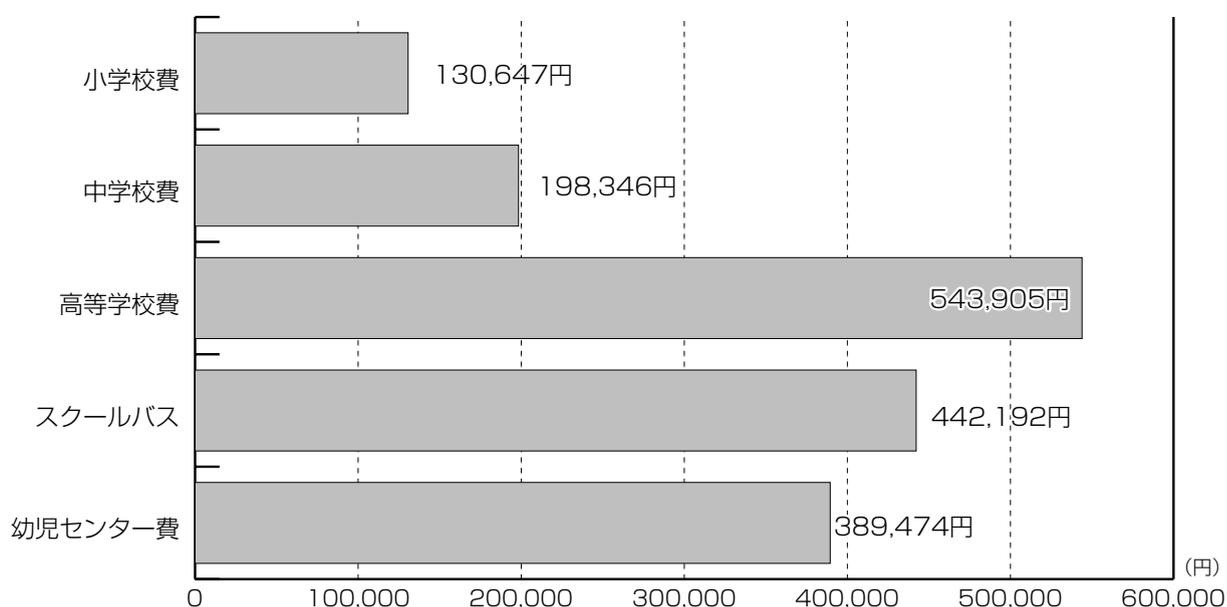
- ・畜ふんが原材料のたい肥：3,920トン
- ・生ゴミ・下水道汚泥が原料のたい肥：450トン

Q11 子どもたちの教育にはどのくらいのお金がかかっていますか？

平成22年度の教育関係予算 4億5,038万円（人件費を除く）



○子ども一人当たりで計算して見ると

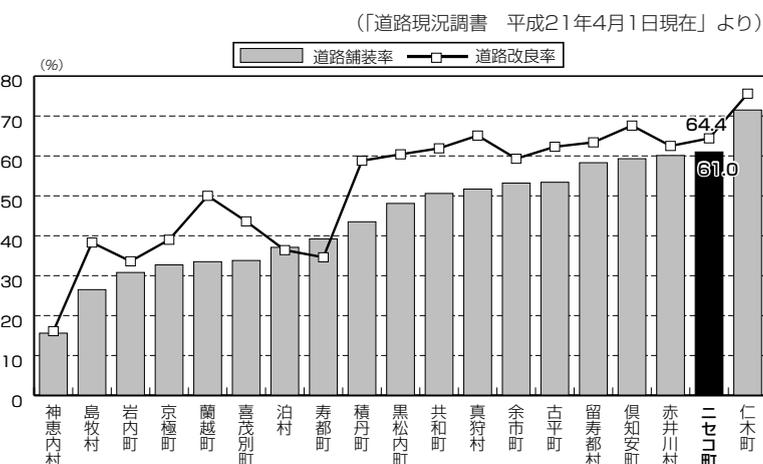


Q12 公共施設などの整備状況はどうなっていますか？

○道路の改良・舗装率

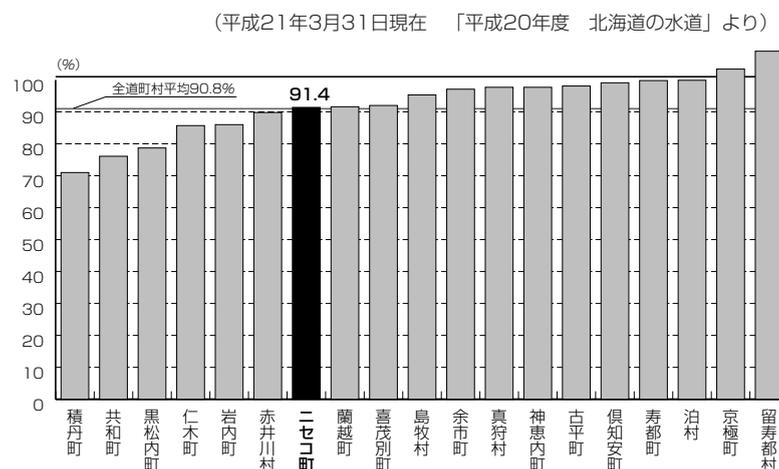
ニセコ町は、後志管内の町村で仁木町に次いで2番目に高い整備率になっています。道路の延長が177kmと長いことを考慮すると道路の整備は進んでいます。

なお、ニセコ町の平成22年4月1日現在の道路改良率は64.4%、道路舗装率は61.0%です。



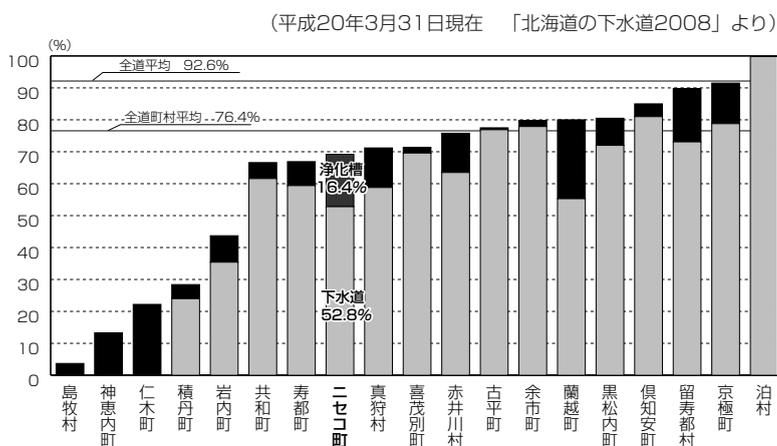
○上水道の普及率

現在町内には、6カ所の簡易水道施設、1カ所の専用水道施設、2カ所の飲用水供給施設があります。平成21年3月31日現在の上下水道の普及率は91.4%です。



○汚水処理の普及率

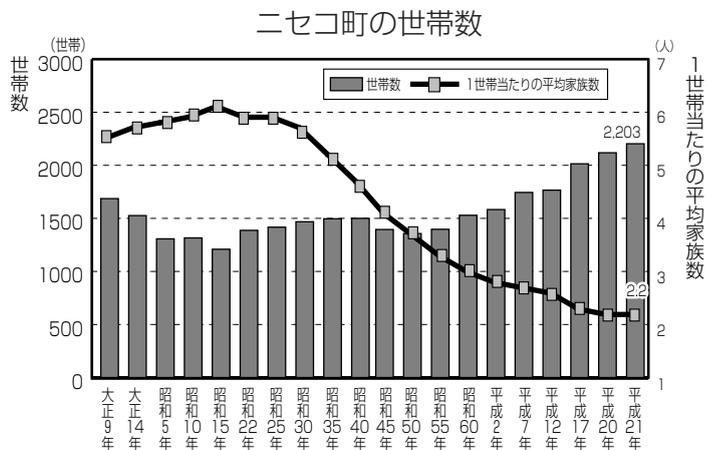
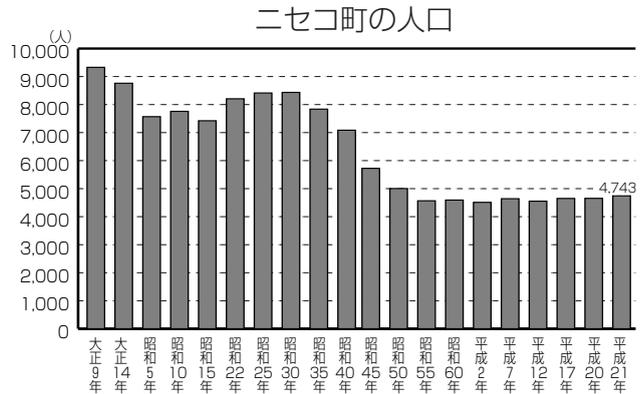
町内での汚水処理は、公共下水道や農業集落排水施設のように処理場に集めて処理する方法と、合併浄化槽のように個別に処理する方法があります。右のグラフは、平成20年3月31日現在の近隣町村の状況をまとめたものです。なお、ニセコ町では、平成21年3月31日現在で、町民のみなさんのうち、69.3%の人が下水道(53.9%)や浄化槽(15.4%)を使用して生活排水を処理することが可能となっています。



Q13 町の人口や構成はどのようになっていますか？

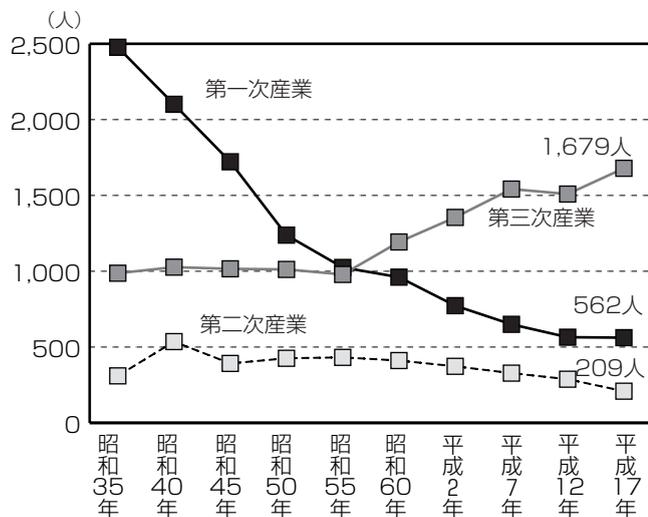
○ニセコ町の人口の状況

これまでの町の人口を見てみると、最も人口が多かった年は大正9年で9,330人。その後戦争の影響で人口は減りますが、戦後は回復し昭和29年に再度ピークを迎えます。そして、減少と停滞が続きましたが平成21年度末の人口は4,743人にまで回復し、その傾向は現在も続いています。



○産業別人口の推移

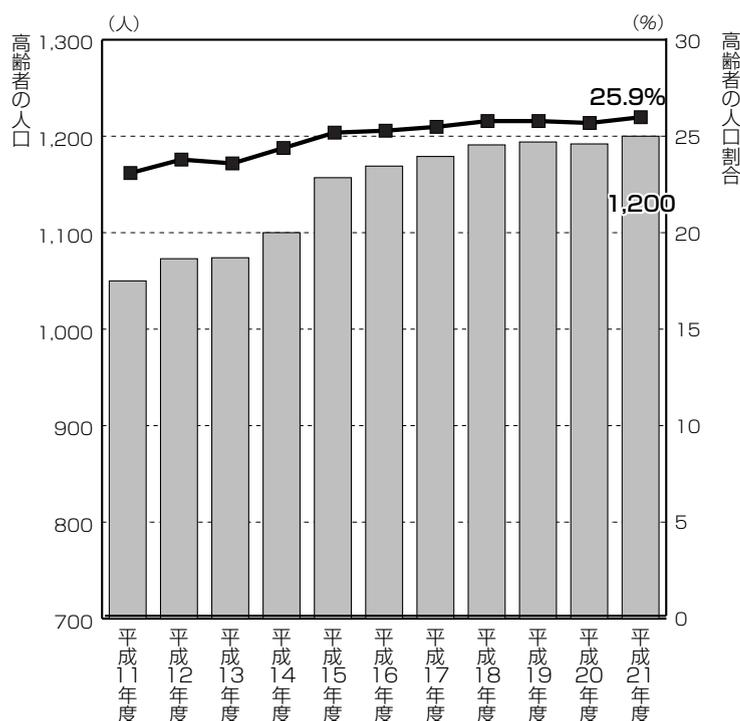
ニセコ町では、昭和55年まで急速に第一次産業の人口が減少しました。これは上のグラフの人口減少と一致しています。しかし、昭和55年を境に第三次産業の人口と第一次産業の人口が逆転し、増加する第三次産業の人口が減少する第一次産業の人口を補う形となりました。そのため、しばらくの間は人口に大きな変動がありません。そして、バブル経済が崩壊した影響を乗り越え、第三次産業の人口は増加の傾向にあります。一方、第一次産業人口の減少は、下げ止まりのきざしにあります。また、「ものづくり」を支える第二次産業人口の減少が続いています。



○高齢者の人口割合

高齢者（65歳以上）の人口比率は、右のグラフのように増加しています。

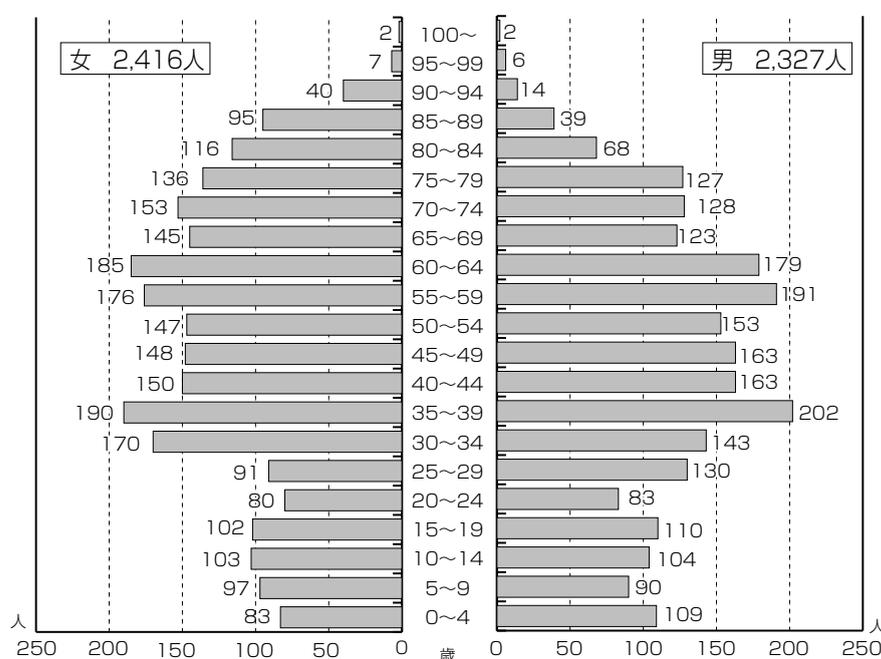
そのため、平成20年度から後期高齢者医療制度が始まるなど、高齢者福祉のあり方は大きく変わっています。町では、誰もがいつまでもいきいきと暮らせるまちづくりを考えていきます。



○ニセコ町の人口ピラミッド

5歳段階別の人口内訳

(平成22年3月末現在)



なお、ニセコ町の合計特殊出生率（一人の女性が一生のうちに産む子どもの数）は平成19年の調査では1.12で、全国平均1.34や全道平均の1.19よりも上回っています。しかし、合計特殊出生率が2.07を下回ると人口は減少するといわれており、ニセコ町でも少子高齢化が進んでいる状況にあります。

Q14 平成20年度にはどのくらいのお金が使われたのですか？（町の決算）

○平成20年度に使われたお金は52億3,849万円

町の会計は、3月に年度末を迎えます。その後2カ月間は「出納整理期間」と呼ばれる精算期間を経て、収入額や支出額が確定します。そして、町議会の決算特別委員会で決算の内容を審査し、12月に開催される定例町議会で承認され公表されています。ここでは、平成20年度の各会計の決算状況をお知らせします。詳しくは「広報ニセコ」平成21年10月号をご覧ください。

◎各会計の決算状況

会計名	会計の内容	当初予算額	決算額	
			収入	支出
一般会計	町の一般的な仕事をする会計で、下記の特別会計を除いたものです	38億3,300万円	38億8,555万円	37億9,262万円
国民健康保険事業特別会計	国民健康保険税などを収入に、加入者の医療費の給付などを行います	5億7,860万円	5億8,357万円	5億8,298万円
老人保健特別会計	支払基金からの医療費交付金などを収入に、70歳以上の加入者を対象とした医療費の給付などを行います	4,670万円	5,536万円	5,347万円
後期高齢者医療特別会計	被保険者と国、道、市町村、他の健康保険の被保険者が定められた費用を負担して医療費の給付などを行います	4,700万円	4,316万円	4,305万円
介護保険事業特別会計	40歳以上の被保険者と国、道、市町村が定められた費用を負担して介護サービスを行います	3億5,370万円	3億6,011万円	3億4,164万円
簡易水道事業特別会計	水道使用料を収入に、水源地などの施設や配水管の維持管理、未普及地域の整備などを行います	2億1,030万円	2億761万円	2億742万円
公共下水道事業特別会計	下水道使用料を収入に、下水道管理センターでの汚水処理や汚水管の維持管理などを行います	2億1,150万円	2億567万円	2億548万円
農業集落排水事業特別会計	下水道使用料を収入に、蘭越町との広域事業により終末処理場で汚水処理を行います	1,180万円	1,191万円	1,183万円
合計		52億9,260万円	53億5,294万円	52億3,849万円